

# 地域おこし協力隊 退任のあいさつ



お世話になりました！

穴倉 淳一

着任して3年が経過し、2月末で退任の時期を迎えます。着任当初は期間が十分あると思っていました。が、振り返るとあつという間でした。

市が取り組んでいるリノベーションまちづくりに興味があり、その取り組みを通して、まちの魅力向上や移住者増加につながる活動をした。と思、移住しました。

1年目は、移住相談対応に必要な情報を収集するため地域のイベントに参加し、地域住民との関係構築を進めつつ、移住用パンフレットを作成しました。また、大間々町にチャレンジショップを開設し、その店舗を利用した人の中から計4店舗が新規開業に至りました。

2年目は、移住相談窓口の

設置のほか、東京での出張移住相談会や「まち歩きフォト講座」を企画し、関係人口の増加につなげました。

3年目は、市外若年層を対象としたプログラム「ターンズローカルカレッジ」の運営に携わり、地域課題の解決に取り組みました。また、全国芝居小屋会議なぐめ余興場大会の一環として、なぐめ余興場の新たな使い方の提案と認知度向上を目的に、音楽イベント「Anti-qua Nova 2025」の企画・運営にも取り組みました。今後、市の地域活性化に貢献するため、その準備を進めていきたいと考えています。



お世話になりました！

宮内 渉

着任して3年が経過し、2月末で退任の時期を迎えます。会社員から農業という全く異なる分野に挑戦することとなり、楽しみな反面、初めての地域で馴染めるか不安もありました。しかし、地域や行政の皆さんに支えていただき、不安はすぐに解消され、大きな問題を抱えることなく活動できました。この3年間で関わってくださった全ての人に感謝申し上げます。

退任後は、元協力隊の小越さんの会社に移り、みどり市に定住して稲作を軸に活動していきたいです。酒米作りに関しては、将来日本酒の自社ブランドを持ちたいです。大間々町塩原地区で作った酒米



を酒造会社に卸し、日本酒を製造していただくという形式です。その日本酒を自社のレストランを中心に販売し、将来的には小売りの販売も行っていきます。稲作だけでなく野菜の露地栽培も引き続き行い、レストランで好評なトウモロコシや長ネギなどの野菜を中心に栽培したいと考えています。

日本酒の自社ブランドを持ち、野菜も時期ごとに変えて育てるといって、3年前の自分では想像できないような確立した目標ができました。「みどり市に住み、活動し続けたい」という気持ちが強かったからこそ、このような結果につながったのだと思います。今後、みどり市を盛り上げていけるよう精進します。